

図書館報

第十二号

昭和三十四年七月一日

発行所 福岡市西新町

西南学院図書館

発行人 山下和夫

夏休みがあげると、四年生には憂うつな就職試験がはじまる。この夏休は四年生にとっては運命の分れ目である。コネをさがすのもよいが、何よりも実力をつけることである。従来の経験によれば、この夏休中に努力した諸君はかならずよい所に就職している。今からでも遅くはない。最後の努力を傾けることである。

就職試験と図書館

入社試験の面接で、「霞と霧はどう違うか」と聞かれて閉口したという話を以前に聞いたことがある。正解は「霞は棚引く、霧は立昇る」のたそろであるが、こんな意地の悪い質問をするのはきまつて二流会社である。

一流会社は実力がなければ書けないオートドックスな問題を出すものである。実力、実力、何よりも実力である。

もっとも世の中にはそんなにできる人間もないものだ。恐れることはない。私が高校を受験したときの経験だが、試験場で何年も浪人した

らしいひげ武者のおっさんが英語の単語をべらべらしやべつて聞いた。こちらは知らぬ単語ばかり、すっかり恐れをなしたものだ。入学式の当日にはそのひげ武者のおっさんの姿は見えなかつた。

図書館が就職試験に役立ちうるのは、図書館の本来の仕事である読書



館長

船越栄一

て、生活の階調を乱さないことが必要だと思ふ。夏休があげて、休中の成果をふりかえってみて、さびしい思いをした経験は誰にもあると思ふ。夏休を有意義に過すために図書館をもつと利用してほしいものがある。

先日のことである。武徳殿に行つた帰り、ちよつと東公園の県立図書館に立寄つてみた。日曜日というのに順番を待つほどの利用者で、外の公園のざわめきをよそに、すしづめにかけた中学、高校生の真げんな態度とすさまじい気はくにいさかたじたいとなる感じを受けた。皆さんもあした勉強を

のサービス以外にはない。私のゼミの卒業生で夏休中図書館に通つた学生もあるが、夏休中は図書館はあまり利用されないのが常である。だが休になるとかく生活がルーズになりがちなものだし、自宅での勉学はむしろ困難な場合が多い。私は休中こそ図書館などの公の施設を利用し

てこの大学にはいつてこれたのだと思う。最後にもう一度この夏休を勉強に集中して、学生生活のフィナーレをたのしい思出で閉じていただきたいものである。

(本学教授)

らいぶらりい・にゆうす

購入希望回答板を新設

先月から図書館の支関に購入希望回答板をとりつけました。皆さんの希望図書申込み次第にふえてきましたので、申込みの結果をこゝに掲示して便宜をお計りすることにしたわけです。回答板の隣りに申込用紙と投書箱を並べておりますから充分活用してやって下さい。皆さんの利用のための図書館ですから御希望の図書はできるだけ購入する方針にしております。けれども中には、予算都合上又は学術研究を主とする大学図書館としての立場からお断りする場合もあるかもしれません。

休暇中の開館お知らせ

夏休みは毎日午前八時三〇分から午後七時三〇分まで開館しております。たゞ例外が二三ありますから御注意下さい。

○7月24・25日(金・土)閉館

○8月12日(火)から15日(土)まで午前八時三〇分から午後五時三〇分まで

○7月中は図書の清掃や曝書を行う関係上、開館していても、臨時に閲覧室の一部を閉鎖することがあります。

休暇中の貸出

夏休み中は一人二冊まで長期貸出を行っています。期限は九月一五日までです。

☆ 主要新着図書案内 ☆

一 叢書・全集の一部 一

- 経営学の方法 (経営学叢書 第5巻) 鈴木英寿 著
- 現代中国の企業型態 (経営叢書 第8巻) 儀我壯一郎 著
- 現代の経営者 (現代経営学全集 第1巻) 坂本藤良 著
- 中小企業総合基本調査報告書 (全8冊) 通産省 編
- 昭和33年度賃金構造基本調査 (全7冊) 労働省 編
- マネジメント・ライブラリー (既刊14冊) 白桃書房

☆全集の主なもの

- 対訳オペラ・宮沢賢治・中野重治・ペスタロッチ・現代アメリカ(荒地出版)
- ・現代アメリカ(研究社) 各全集その他多数。

就職試験

と

図書館

「就職の契」に略記しておいたように採用試験の経営学に関する問題も安定し、基本的知識を問うという傾向が強い。その意味で大学の講義を中心に勉強していれば充分答えられるといえる。ところが先月の第一回実力テストの答案を見ると失望した。それは答案の過半数が常識的解答であつたり経済学入門的論旨であつたりして、なかには、どこに問題があり、経営でどう受取られ、考えらるべきかさえ不明であつた。それで果して企業のメンバ―となつたときにどういう人生観ないし世界観で行かれるのであろうか。

就職試験のための『経営学』

この原因は恐らく、諸君が、自ら考え、自ら読書し、友と論じたことがあまりにも貧弱であつたかを示す。なぜならたとえば、現代企業の社会的意義という課題にしても経営学概論の知識で充分答えられるはずである。自らの知識として再生産することを熟練されていないので、折角所蔵している知識を応用(実践的)問題に利用し再現しえなかつたときえいえる。

そこで、まず基本的なものとして、「例解経営学精義」あたりを読んで小論文としてまとめる力をつけられたい。その他概論としては池内信行「経営経済学総論」古川栄一その他野田、野口(現代企業経営制度論)山城諸教授の著のうち一冊を通読されたい。

一 純本山

また生産性、収益性、経済性の概念を理解しておきたい。そのため「生産性の測定」Iとか、生産性講座五巻(小冊子)の第一にある「生産性の意義」を、まれ、さらにこの講座の、日本経済(1)経営管理(2)、技術革新(3)労務関係(4)マーケティング(5)等の五冊をよんでおかれるだけでも解答力が充分につくであらう。

経営管理については、科学的管理を充分理解されたい。概説書として占部「近代経営管理論」古川「経営管理通論」が手頃である。労務管理では、森五郎「労務管理」が理解し易く、またポケット版でもある。経営財務については概論に説明されている程度でよいが、「財務管理」

(経営学講座)「財務管理の理論と方式」等を補足されたい。またこの頃、販売管理やマーケティングの問題が多い。前掲の生産性講座で間にあいそうだが、販売会社の場合に、原田俊夫「マーケティング」が理

受験のための勉強法が特別にあるわけではない。平生の勉強によつて培われた力が答案の上に反映されるだけのことである。しかし、これで終りにするわけにもゆかないので、私なりの考えを少しのべてみましょう。

英文和訳。試験に出される文章は、ほとんどの場合、全体として、ある論理的にまとまつた意味をあらわしている。そこで解答者も、常に全体の論理の意味を念頭において各部分を考えなければならぬ。たとえばAという単語がある。それにはa、b、c、...といふいろいろな意味がある。その中で、自分がたまたま知っているaという単語を決めてしまふ、次にBという単語を、これもまたたまたま知つていたbという意味に解釈し、「aはbである」とやつて、「英文」を「和訳」したと思ふのでは救い難い。Aがどういふ意味であるか、Bがどういふ意味であるかは、前後の文脈から決定されることである。一応解釈してみても、論理的に筋が通らなければどこかで誤りを犯していると思つてよい。

そこで全体の論理の意味を的確につかむには英語の構造に馴れていなければならぬ。そのためにはある程度の文法的知識が必要となる。そ

想的。勉強の範囲は目標とする会社によつてきめられたい。経営学関係ばかり出すのもあるし、そうでないものもあるからだ。また往々新しい概念、課題、技法が提示されるのが経営学

れについては次にのべるが、ここに一言しておきたいことは、英語の構造に「馴れる」ためには、一言一句の意味までもセンサクしてゆく教室でのやり方とは別に、速読の練習をするのが望ましい。洋書店にゆけば、ベングイン文庫の緑色(探偵小説)など沢山並んでいる。勿論安い! 文法・英語を専攻するのでなければあれこれと文法書をあきらめないこと。そして、理論的なことはいい加減にして、実際の知識を得得する。曲りなりにも十年間英語を

就職試験と英語

永嶋 大典

学べば、文法書にあることは大いどこかで教わつていられる。そこで、これも知つていられる。次も知つていられると終つてしまふ。それではまずい。注意を集中して読みながら、未知の事柄、不十分にしか知らなかつたこと、間違ひやすいこと、などはメモをとつてゆくことよ。メモをとるといふ機械的動作そのものが記憶を助ける。ここで適当な参考書を二、三あげておきたいのだが、あまり確信がないからそのつもりで。久野朝郎「英文法概論」

の特長である。そのため「近代経営」[「総合経営」]「経営セミナー」など通覧して、これはと思うものは理解し、ハンドブックや「新しい経営学」(P・R編)と対照しておこう。(本学教授)

(開隆堂、一三〇円)河合茂「英文法概要」(開隆堂、一八〇円、英文科生むき)、英文で書かれたものとしては、George O. Curme, English Grammar. (Barnes & Noble社 New York)は定評がある。五〇〇円。(以前は書名が違つていた。邦訳もあるはず。「英文法・理論と実践」とかいう題名。)

和文英訳。決して「日本語」を「英語」に「なおそう」としないこと。かつて、ある学生が、「一口で言え」というのを訳して「so say in a mouth」とやつた。むしろ「この日本語の意味は、英語ではどんな形で表現するだろうか」と、まず適用すべき英語の型を考えよ。そして、その「英語の型」に「日本語」をはめこんでゆけ。そのためには、なるべく平易な表現を目ざす。よい。It...that...; It...; toなど大いに利用すべきだろう。少し位幼稚な構文の方が、高級な表現をめぐして空中分解するよりましだろう。その際、適当な成句(not only...but...; so that...; that...; may, etc)を使うと、主語述語など他の部分が自然に決定されるので便利である。以上、図書館報にはあまりふさわしくない文章になつてしまつたが、与えられた題目のセイだと思つてカンベン願ひたい。(本学講師)

今年就職試験を受けられる皆さんにはすでに関係教授からいろいろと示みや指導を受けておられることと思う。又学生部よりは就職のしおりも出されている。ここでは図書館の立場より一般的な準備資料を集めて紹介しよう。

先づ資料の一として

「会社銀行八十年史」東洋経済新報社編 630・3602・1がある。

本書では重要五十六種の産業部門から、それらの部門における代表的な株式会社一千社を選び出し、その創立から現在に至るまでの変遷の跡を記述したものであり、かつ各部門における当該事業の発端及び全体的な発展の過程が数字をもあげて記載されている。又各会社の創業より戦前戦後にわたる変遷、その事業内容が述べられているので志望会社の概略を調べる場合に便利であるし、又当該志望会社の記載がなくても、その関係産業部門の生成、発展の跡を窺うのにも役立つと思う。

一般的に会社の経営内容、営業状況を調べるには「会社年鑑」がある。この会社年鑑には、会社の沿革事業内容の外、資産負債の関係、生産状況、收支状況、財務比率、株価等の記載があるので、これらは概略的な表面的な資料にはすぎないが、経営比較、経営分析の大まかな

就職準備

と 書 館 の 資 料



調査の一助とすることも出来る。就職試験の前準備として経済白書に目を通すことの必要はよく言われるが、それと共に動態的な日本経済の動きの中より主要な問題群について季刊的にとり上げられ論じられているものに日本経済年報。(東洋経済新報社編) 330・59・21 日本経済分析(経済分析研究会編、大月書店発行)等がある。「日本経済分析」はこれまでに日本経済調査会の編に

て発行されていた日本経済四季報に代る改題として刊行されたものである。この日本経済分析。第一集一九五九、一月―三月には「現局面における投資競争」、「交換性回復と管理通貨制度の展望」、「企業の体質改善と労使協議制などの諸問題など」も論ぜられており、これらの季報、年報類も一読しておかれるとよいのではないかと思う。

又直接具体的な資料として

会社就職案内 一九五九年版 大学篇(ダイヤモンド社編)も購入されており、業種別六三七社の会社概要と就職に関する会社の諸事情及び入社試験問題ならびに主要会社の試験模範解答も付されている。その他、大学卒業用用のための時事論文・作文の書き方(ダイヤモンド社編)も準備されておりこの中には時事論文資料収集と整理の仕方が非常に親切によくまとめているので併せて利用されるようお勧めする。

新聞は時事問題に関する必須資料である。図書館では朝日、毎日の縮刷版及び日本経済新聞の縮刷版も備えてある。この縮刷版には記事の索引が部門ごとにとめて付してあるので利用に便利である。

時事論文作成のための新聞の読み方については前述のダイヤモンド社編「時事論文、作文の書き方」に具体的に述べてあるので参考にされるのがよからう。その他雑誌類として経済評論、経済セミナー、又特に貿易関係志望者には Business English などは役立つのではないかと思う。

(文責・伊藤)

つう(「通」名) ①その道によく通じて知っていること。②人情や花柳界などに通じてさばけていること。やばでないこと。またその人。

――(岩波・広辞苑)

博多帯しめ筑前絞り 歩む姿は柳ごし
意気地づくなら
命もままよ
博多小女郎の末
じやもの

御存知正調博多節の一節であるが、この曲節が史上に名を見せ始めた文政の頃、博多ツ児の図書館通として見のがせない珍事が、博多の総領守 榎田神社の一角に起った。

「榎田文庫」の願末がそれである。

一 珍 版 一

図 書 館 ツ ウ 論

一 連 載 第 二 回 一

りとも言うべきものだが、惜しむらくは閉館後五年にして閉鎖のうき目を見た。所がその閉館のいきさつがふるっているのである。

史料によると開館と同時に、市中の若者達が続々とおしかけ「読書ニ耽り、家業怠り勝ちニ相及び風紀面白カラズ候ニツキ文庫御取止メニ相成候」と言うのである。つまり余りP・Rが徹底しすぎ利用が激増したためつぶれてしまったわけだ。博多ツ児は昔からこの様に読書家が多かったと見るのは些か我田引水であろうが、学院図書館にも家業ならぬ「授業怠り勝ち」で図書館に通いつめる青年が散見される。どうか図書館才取止メクにならぬ程度に精々御利用被下度存候。

(M)

近代図書館の使命はその利用者に対する余すところのないサービスの提供にあると言われています。永い間、書物の保存の機能だけしか認められてこなかった図書館が、保存から利用へ々と大きくその方向を変えて来ました。

殊に終戦後、アメリカの図書館の現状が紹介され、非常に進んだ制度や活動が認識されてくるにつれて、前近代的な我国の図書館の在り方に大きな批判と反省がなされ図書館の機能の重要性が強く叫ばれるに至つて最近の我国の図書館界は長足の進歩発展を遂げつつあると云えます。全国的主要都市には、近代設備を誇る図書館や文化センターが続々と生まれ(たゞ福岡市にだけは、どういわけか一向に建ちません。東公園の陋屋が残っているだけです。)図書館法の制定、司書の養成、研究会の開催等非常に活発な動きを示して来ました。中でも近代的図書館を運営してゆく図書館司書の質の向上とその身分の確立とが特に重要な問題としてとり上げられ力を注がれて来ました。図書館の機能が利用にあるとすれば、その資料を提供し充分な活用を図る司書の能力如何がそれに及ぼす影響は図り知れないものである

TOPIC

最近の館界の動き

のは当然だからです。ところでその中でも大学図書館の動きはどうかと申しますと、教授研究という大学の目的に奉仕する図書館の重要性が叫ばれながらも甚だ残念ながら未だ充分にその認識が徹底せず、活動は不活発でありその機能を果していないのではないかと思われまます。例えば大学図書館においては、学生と文献との媒介者としての仕事即ち参考事務——レファレンスと呼ばれている——制度の確立が学

生に対する最も大きなサービスであることが主張されながら、現状は殆ど無視され、なされていらないような状態であり、又それと並んでそのような事を行つてゆく専門職としての司書制度の確立もなお途遠しの感を禁じえません。併し、にも拘らず大学図書館界の歩一歩の向上への努力は認められてよいと思ひます。私共の属している私立大学図書館協会の



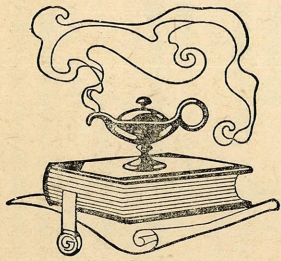
トピック

この一年の動きを捉えてみますと、東関西と二部に分れて各々若い職員のための研究部会をもち、分類、目録、逐次刊行物、書誌学、閲覧参考視聴覚、図書館史、本質論等の活発な研究を行い、すぐれた成果が次々と発表されていますし又、中央では「研修及び司書職に関する委員会」が大学図書館職員の教育研修と司書制度の確立についての調査研究を続け、「大学図書館ハンドブック編纂委員会」が設けられて大学図書館運営のための手頃なハンドブックの作成にとりかゝつており、「私立大学図書館所蔵文献目録」や、「私立大学出版逐次刊行物目録」の編纂も間もなく完成する運

びにある等たえざる努力が続けられています。御存知のように最近の綜合目録編纂の動きは非常に活発で、国立国会図書館が「新收洋書綜合目録」一、二号を出すや、文部省も「学術図書綜合目録」第一巻を刊行する等、こぞって書誌サービス提供の傾向が見られますが私立大学もこの面での活動を自ら続けているわけです。他面図書館協会賞を設定して職員の研究を奨励すると共に私大連盟

と協力して職員の全国的研修を毎年行つてその質的向上を図ることに努めていることも見逃してはならないことでしょう。ともあれこの二三年の歩みは過去の一途の疾走から、じっくりと実力を養う段階に入ってきたと云えるのではないかと思ひます。

たゞ中央のこのような動きに較べて地方ではまだ、認識は低く活動は低調を極めているとしか申し上げられないのは全く残念でなりません。その中で福岡県内の大学図書館がこれまでの通り一辺の研究方法を改め、研究分科会による進んだ研究へと向おうとしていること、大学図書館の若い職員が集つて結成している新図書館人集団の活発な研究活動とが僅かに清新の気を見せていることが挙げられます。



ビ・ブ・ロ

ややこしい出版社の名

- 一粒社、不昧堂、芸脚堂、青蛙房、(ラム、コリヤットムツカシイ)
- 荒地出版社、五禾書房、梧桐書院、(フタシヤ漢字二弱インダ)
- 吾妹社、寧楽書房、梓会、苺書房、(今トキコンナノイカサイゼ)
- 雄鶏社、巖翠堂、杏林書院、幸書房、(川漢字ガ泣クワウ、イヤナカラン)
- 駁々堂、大蔵出版、垂水書房、篋会

(読み方)

いちりゆう社、ふまい堂、うんそう堂、せいあ房、あれち出版社、ごか書房、ごどう書院、わぎも社、なら書房、あづさ会、いちご書房、おんどり社、がんすい堂、きょうりん書院、さいわい書房、しんしん堂、だいどう出版、たるみ書房、たかむら会

編集後記

○従来不定期刊であったこの館報も年四回季刊と言う原則を立ててから早くも四回目となった。とは言へ毎季季節のあとを追いかける様な始末でどうしてもおくれ勝ち、全く面目ない。
× × ×
○本号は山本、永嶋両先生を始め館長、司書長、和書整理、洋書整理、奉仕各係の協力の結晶である。深謝。
(M)